

第14次 第4回 苫小牧市廃棄物減量等推進審議会

日 時：令和5年3月24日（金） 14時00分から14時30分

会 場：苫小牧市役所9階 議会大会議室

出席委員：栗山会長、阿部委員、遠藤委員、緒方委員、川上委員、後藤委員、今野委員、
佐藤（一）委員、重本委員、鈴木委員、細部委員、堀江委員、嶺野委員

（計13名）

会 議 録：

（事務局）

それでは、定刻となりましたので、ただいまから第14次第4回苫小牧市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。

皆様、本日は大変お忙しい中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。

司会を担当させていただきます、ゼロごみ推進課長の安友と申します。よろしくお願いいたします。

本日は、委員17名中11名の委員に出席いただいております、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び同施行規則に定める開催要件を満たしております。

なお、榎本委員、佐藤委員、平野委員、松崎委員については欠席とのご連絡をいただいていることをご報告します。

また、川上委員におかれましては10分程遅れるとご連絡をいただいております。

それでは、規則に従いまして、会議の進行を会長にお願いすることとします。

会長、よろしくお願いいたします。

（会長）

それでは、次第に従いまして審議会を進めさせていただきます。

本日の審議会は、おおむね1時間程度と考えておりますので、議事進行へのご協力のほどよろしくお願いいたします。

本日の内容につきましては、報告が3件となっております。

報告事項に対する質問等は、3件の報告が終わったあとに、まとめてお受けします。

それでは、報告(1) 災害廃棄物処理計画の策定について、報告(2) ゼロカーボン×(バイ)053大作戦について、並びに報告(3) JFEリサイクルプラザの機能拡充について、事務局から一括で説明をお願いします。

（事務局）

<報告事項(1) 災害廃棄物処理計画の策定について説明> (資料1)

<報告事項(2) ゼロカーボン×(パイ)053大作戦について説明> (資料2)

<報告事項(3) JFEリサイクルプラザの機能拡充について説明> (資料3)

(会長)

どうもありがとうございました。

ただいまの3件のご報告について、質問・ご意見等ございませんか。

よろしいでしょうか。

私の方から1点質問させていただきます。

(会長)

災害廃棄物処理計画の数量の推計に関して、各ごみ種目の推計は何を参考に原単位を作っているのか教えていただきたい。

(事務局)

推定の量につきましては、震度の状況・大きさ、街の作り、構造等を環境省の指針に則って計算しています。

(会長)

し尿の量についてもそのような指標でしょうか。

(事務局)

市の策定しているアセスメントに則ってし尿についても同様の推計としています。

(会長)

単位も10単位で細かく出ているので、少し丸めても良いのかなと思いました。

よくわかりました、ありがとうございました。

(会長)

その他、何かございませんか。

他に無いようでしたら、報告事項は以上となります。

次にその他として、何か皆様からご意見等ございますでしょうか。

ないようでしたら、司会を事務局にお返ししたいと思います。

(事務局)

第14次苫小牧市廃棄物減量等推進審議会委員の任期は、6月30日までとなっております。

ますが、開催予定は本日が最後となっております。

そこで、退任に当たりまして、会長からご挨拶をいただきたいと思います。会長お願いいたします。

(会長)

第14次審議会の委員の皆様におかれましては、2年間にわたりご協力いただきましたことを感謝申し上げます。実は私も今回で委員を退任させていただくことになりました。

振り返りますと、第8次から第14次まで14年間も廃棄物行政に関わることができ、ありがたく思っております。この間、有料化をはじめ、戸別収集等のさまざまなことに携わらせていただきました。

廃棄物に関しては、課題が山積しており、個人的には今後、戸別収集を契機に、廃棄物の資源化に取り組んでいくことが必要なのではないかと考えております。

皆様におかれましても、今後とも市の廃棄物行政に関心を持っていただき、苫小牧市が廃棄物の先進都市になるようご協力いただければありがたく存じます。

簡単ではございますが、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(事務局)

ありがとうございました。

これにて第14次審議会を終了いたします。

皆さま、2年間にわたりまして、ご審議ご協力いただき、誠にありがとうございました。